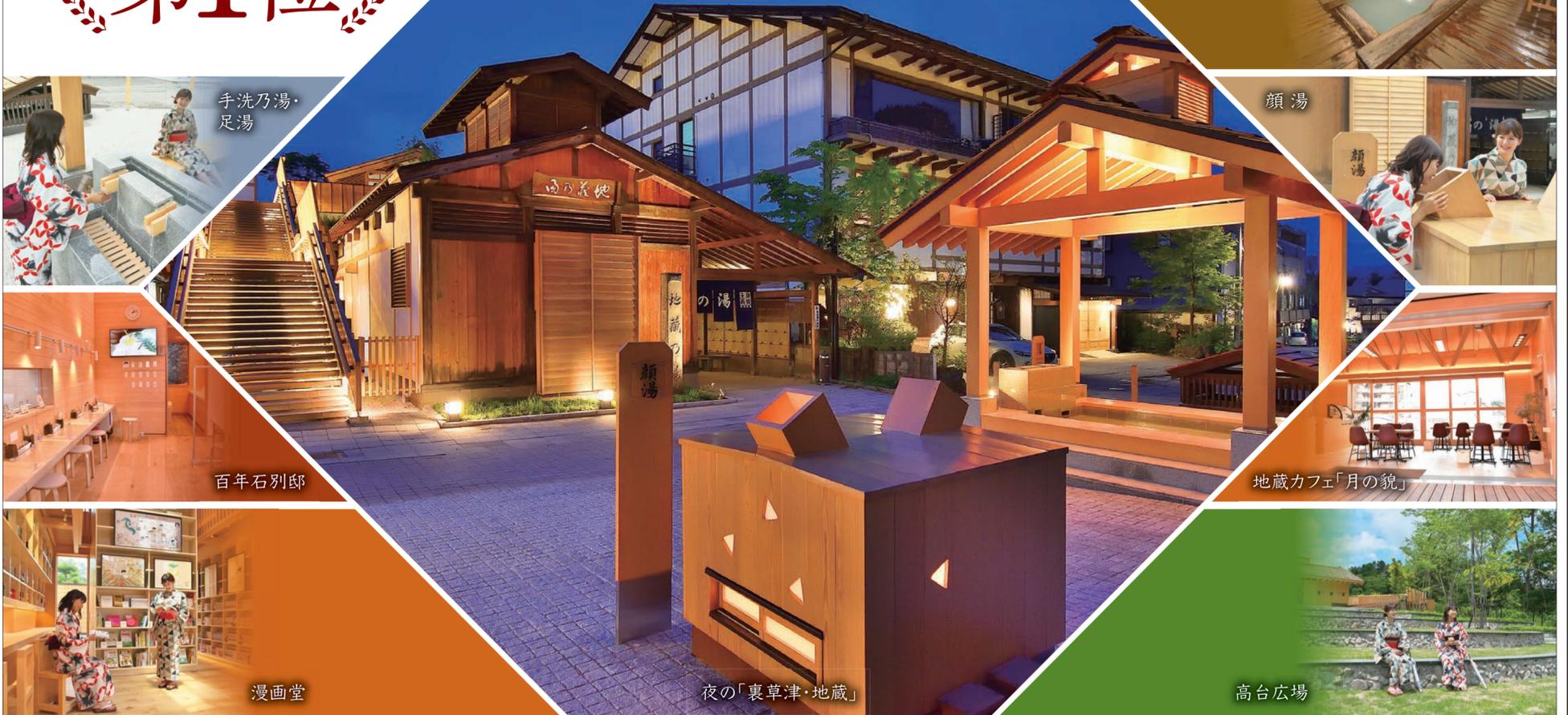


観光経済新聞社主催
第35回にっぼんの温泉100選
おかげさまで草津温泉
19年連続
第1位

静かな時を過ごす
憩いの場所
裏草津・地蔵

表草津の湯畑エリアとあわせ、
施設も充実しました「裏草津・地蔵」が皆さまをお迎えいたします。



お問い合わせ
草津温泉観光協会
〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津28 草津温泉バスターミナル1F
TEL.0279-88-0800



◀ 草津温泉のお得な情報はここから
草津温泉ポータルサイト
<https://www.kusatsu-onsen.ne.jp/>

おすすめ動画
草津温泉8K8D

由布院温泉の歴史

2019年から現在	1975年	1955年	823年
<p>現在の辻馬車</p> <p>山々に愛され守られてきた土地に人々が暮らす町です。</p>	<p>昭和30年頃の駅前の様子</p> <p>自然や環境を守ろうと町を上げての取り組みが現在の由布院の姿を築きました。</p>	<p>昭和初期の由布院盆地</p> <p>「産業・温泉・自然の山野の三つの融合」を掲げ、健全な保養温泉地づくりへと邁進しました。</p>	<p>由布院温泉は、大分県由布市にある温泉です。その歴史は古く、奈良時代に編纂された「豊後風土記」にその名が記され、「袖富郷(のちの西に在り)」と紹介されています。郡とは現在の速見郡です。その後、823年、太宰府政府は由布郷に倉院を設置しました。そこでこれを「由布の倉院」、由布の院」と称しました。のちに院名が逆に地名となり「由布院」という呼び名が生まれました。「ゆふ」と記すために使用した文字はその時代時代によって「袖富」、「木綿」、「由布」、「油布」と異なりませんが、「ゆふ」という呼称は千何百年もの間、変わることなく続いています。</p>
<p>昔の辻馬車</p> <p>温泉湧出量は全国2位の湯量、源泉数は852本存在し、ともに全国2位の豊富な湯量を誇ります。</p>	<p>1975年4月、大分中部地震により「由布院は壊滅した」という噂が駆け巡りました。そこで、この風評被害を払拭するため、辻馬車の運行を決断。震災の翌月には馬を買い付けに行き、7月には運行を開始しました。さらには、ゆふいん音楽祭を同年8月に開始、10月には牛唄い絶叫大会、翌年の8月に湯布院映画祭と次々とイベントを立ち上げました。今では、全国的にも知られているイベントの多くはこの時期に始まったものです。</p>	<p>戦後の高度成長期、温泉地の飲業街化に反対し、由布院の自然環境を守ろうと町を上げての取り組みが現在の由布院の姿を築きました。</p>	<p>「ゆふ」と異なりませんが、「ゆふ」という呼称は千何百年もの間、変わることなく続いています。</p>
<p>湯の坪街道</p>	<p>秋の金鱗湖</p>	<p>由布岳</p>	<p>由布院温泉</p>

癒しの国民的保養地
由布院温泉

大分空港の宇宙港としての活用を機会に 由布院温泉を世界の保養温泉地へ!

米商バジーンオービット社は、大分空港をアジア発の水平型宇宙港として指定し、早ければ本年度より人工衛星の打ち上げを開始する予定です。これに伴い、欧米豪を中心とした事業者や投資家、エンジニア等多くの関係者がビジネスを目的に大分県へ来県され、長期滞在の観光や保養を行う事が想定されます。

由布院温泉はその歴史や環境からこれらの誘客に関して優位性があると考え、この観光需要を捉えようと、宇宙ビジュネスを通じた観光衛星データーや最先端技術を活用した新

しいコンテンツの提供など、新たな観光資源の開発・提供に向け、去る3月2日、一般社団法人由布院温泉観光協会、一般社団法人由布院温泉旅館組合、大分県信用組合、一般社団法人おおいの4社による「観光振興等経済活性化を通じた地方創生に係る包括連携協定」を締結しました。

「由布院温泉を「世界の保養温泉地」として世界に発信する好機」と思っています。

ゆふいんでアート&建築を巡る旅

美術作品をはじめ、芸術を擁する美術館やギャラリーが点在しているのがこの町の特微です。小規模のこぢんまりとした、それぞれ個性のある所ばかりです。また、職舎は大分県出身の建築家・磯崎新氏の設計によるもので、礼拝堂がイメージされています。高さ12mの吹き抜けや待合室はアートホールというギャラリーを兼ね、観光客と地元文化の交流ができます。その職舎の隣には、2018年にオープンした由布院ツーリストインフォメーションセンターがあります。こちらは坂茂氏が設計しました。湾曲させた断面集成材を用い、平面が十字になるように組まれた柱は、まるで森の中にいるような空間をつくりだしています。駅前から15分ほど歩くとCOMICO ART MUSEUM YUFUINがあります。こちらは、隈研

吾氏が設計した美術館です。由布院の町並に溶け込み、由布岳や周辺の景色をくっきりと浮かび上がらせるために、外壁には黒く焼いた焼杉が使われています。小さな町で芸術に浸る旅はいかがでしょう。

由布院アートホールの展示作品

由布院アートホール